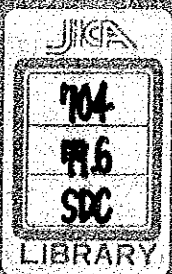


チリ共和国教育テレビ・プロジェクト 予備調査団報告書

昭和61年4月

国際協力事業団
社会開発協力部



国際協力事業団

20009

2009

JICA LIBRARY



1067721[9]

序 文

チリには現在、五つのテレビ放送系統があるが、教育番組については、チリ・カトリック大学が企画、制作したものを、同大学のテレビ局を通じて週数時間程度放映しているにすぎない現状である。

このため、チリ政府は、同国における教育テレビ放送の拡充、改善を図る目的で、我が国に対し、同大学への技術協力を要請越した。

これを受けて、我が国は、要請内容を確認するとともに協力の可能性を検討するために、昭和61年3月15日から25日までの11日間、郵政大臣官房参事官 西井烈氏を団長とする予備調査団を派遣した。

本報告書は、同調査団の現地における調査・協議結果をとりまとめたものである。

終わりに、本調査団派遣にあたりご協力いただいた外務省、郵政省、NHK等の関係者各位に対し深くお礼申し上げるとともに、今後のご協力方、よろしくお願い申し上げる次第である。

昭和61年4月

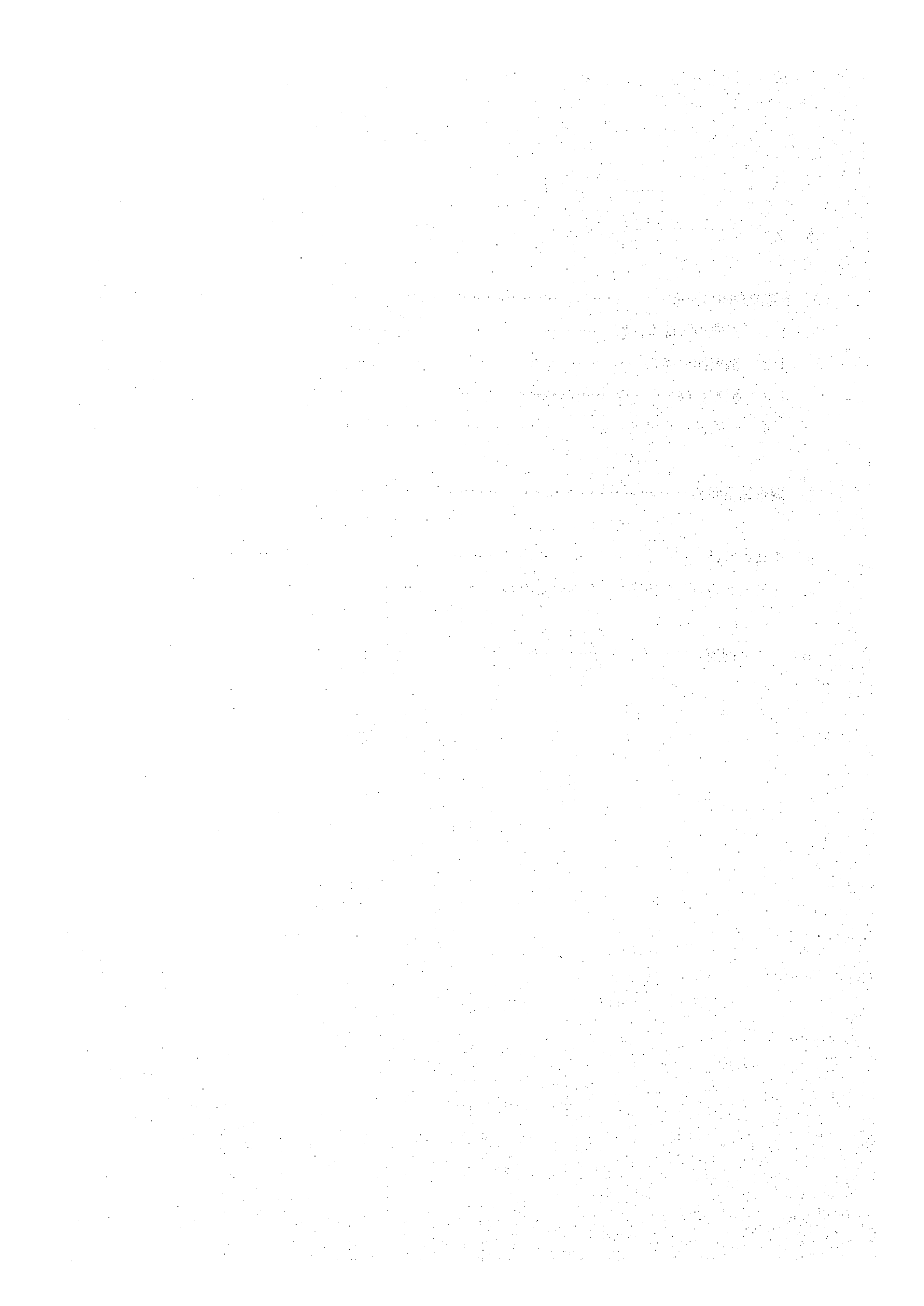
国際協力事業団社会開発協力部

部長 山下 生比古

目 次

序 文

1. 予備調査団の派遣	1
1-1 派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 関係者リスト	3
2. 調査結果要約	4
3. 要請の背景	5
4. TELEDUCの内容及び協力要請内容	7
5. チリ側要請ペーパー	14



1. 予備調査団の派遣

1-1 派遣の経緯と目的

昭和55年5月、チリ・テレビ審議会理事、教育省のテレビ教育審議会理事であり、かつチリ・カトリック大学視聴覚技術部長であるE. Altman女史より、カトリック大学「教育テレビ研修センター設立」に関し、日本の技術協力を得たい旨、要請があったが、チリ国外務省を通じた正式要請がなかなか出されず、昭和57年になり、ようやく同案件に関する正式要請が出された。

しかしながら、日本側により実施案件として取り上げられないでいる間、同じ教育テレビの分野であるが、チリ文化基金（会長はピノチェット大統領の長女であるルシア・ピノチェット氏）、国営テレビ局、教育省より「教育テレビ局新設」に対するプロジェクト協力の要請が昭和58年6月に出された。このように二つの要請が、同時並行して出されてきたところ、日本側としては後者の要請が正式に出されてから検討すべく待っていたが、テレビ局の新設には巨額の資金を要することから、教育テレビ局新設の計画は全く進捗をみせず、正式要請も出されなかった。

このような状況の中、前者のカトリック大学に対する協力要請の内容に変化が生じ、研修センター新設の計画から、既存の教育システムに対する協力要請に変更して、昭和60年度案件としての実施を、59年に督促してきた。このため、内容的にみて、それほど大規模な協力内容ではなく、チリ側の組織も確固としており、協力対象案件として適当であろうと判断され、また中南米地域での同一分野の協力であるパナマ教育テレビ・プロジェクトが60年度中に終了予定のところ、本件チリ教育テレビ案件を、60年度予備調査案件に取り上げることが決まり、今回の予備調査団の派遣となったものである。

予備調査団の目的としては、本件プロジェクトの実施を想定した場合、我が方の国内支援体制についても問題ないこと、また施設等についても既存施設の利用が可能とのことで、協力規模は比較的小さいものと考えられることから、教育テレビ新設計画の動向も含め、要請内容の確認をし、本件協力の可能性を探るのもである。

1-2 調査団の構成

- (1) 団長 総括/放送政策 西井 烈 郵政大臣官房参事官
- (2) 団員 教育放送 宮崎 馨 日本放送協会番組制作局
チーフディレクター
- (3) 団員 協力計画/業務 田辺 耕治 JICA社会開発協力部
調査 海外センター課課長代理

1-3 調査日程 (昭和61年3月15日~3月25日)

日 (曜)	活 動 内 容	
15 (土)	UA802 便にて成田発。	
16 (日)	New York, Miami, Lima 経由 Santiago 着。 ホテルにて日程打合せ。	
17 (月)	在チリ日本大使館 瑞参事官表敬, 打合せ。 カトリック大学本部にて TELEDUC (教育テレビ放送) について説明受ける。	
18 (火)	CANAL 13 (カトリック大学系 TV 局) 視察, 打合せ。	
19 (水)	カトリック大学工学部視察, 協議。	
20 (木)	カトリック大学本部にて最終協議。	
21 (金)	文部省表敬。国营 TV 放送局視察。	
22 (土)	JICA 事務所報告。	
23 (日)	(西井団長, 宮崎団員) RG 921 便にて Santiago 発。	(田辺団員) AV 080 便にて Santiago 発。
24 (月)	San Paulo, Los Angeles 経由 RG 830 便	Bogota 経由 OP 402 便にて
25 (火)	にて成田着, 帰国。	Panama City 着。次の業務につく。

1-4 関係者リスト

(1) チリ・カトリック大学／TELEDUC

Hernan Larrain Fernandez	Vicerector
Alfonso Gomez M. (ph. D.)	Director, TELEDUC
Cecilia Guitart C.	Academic Coordinator, TELEDUC
E. Altman	

(2) チリ・カトリック大学テレビ局

Eleodoro Rodriguez Matte	Effective Director
Ruby Anne Gumpertz	Production Director
Rafael Richard M.	Technical Director

(3) 教育省

Sergio Martinez Baeza	International Relation's Director
-----------------------	-----------------------------------

(4) 国営テレビ局

Manfredo Mayol Duran	General Director
Cristian Varela Noguere	Effective Director
Julian Jauregui Leguas	Technical Director

(5) 在チリ日本大使館 (Tel. 232807)

塙 哲夫	参事官
佐藤 隆幸	書記官 (本件担当官)

(6) JICA サンチャゴ事務所

加藤 進	所長
------	----

(7) その他

Isaac Tsunekawa Ikeda (常川勇久)	通訳
田中 邦則	JICA 派遣専門家 (運輸通信省)
相澤 列	JICA 派遣専門家 (運輸通信省)

2. 調査結果要約

- (1) 昭和61年3月16日サンチャゴ着後、在チリ大使館、JICA事務所表敬、日程等打合わせ、協力相手機関であるカトリック大学、カトリック大学テレビ局（13ch./TVUC）、教育省、国営テレビ局等を訪問、視察し、プロジェクト協力について協議し、3月23日帰国の途につく。
- (2) 協力相手機関は、国立の機関でなくカトリック教のチリ・カトリック大学の一機関—TELEDUC（カトリック大学テレビ教育システム）であるが、日本に対する要請は教育省も承認しており、チリ外務省を通じ正式に出されており、国の教育テレビ振興政策の実施を、他に適当な機関がなく、TELEDUCに実施せしめる形となっており、TELEDUCに対する協力実施上問題ないと思われる。
- (3) TELEDUCにおける教育テレビ・システムは、約10年前から実施されているテレビをメディアとした教育（通信教育）の実験であり、チリでは唯一のものである。TELEDUC自体は、TV制作機材、放送設備は持たず、同系列のTVUCの協力を得ており、番組の企画・制作そして番組とテキストによる通信教育をTELEDUCの主業務としている。
- (4) 協力の目的としては、現在土・日曜日の午前中のみ放映されているTELEDUCの番組の充実を図り、今後の飛躍に役立てる点にあり、日本に対する協力要請内容は次のとおり。
 - a. 新しい番組企画を実現するための、番組制作用機器の供与（中継車、アニメ等制作用コンピュータ等）。
 - b. 日本（例えばNHK）での教育テレビ・システムの技術研修・視察。
 - c. 教育テレビの効果の調査・研究のための技術移転。
 - d. 上記a.とc.に関連しての、日本人専門家の派遣。
- (5) 本件協力は、TELEDUCを通じ、テレビをメディアとした教育テレビの充実を図り、現在は実験的なシステムといえるチリの教育テレビを、将来さらに発展させるための土台づくりといえるが、全国に放映されるテレビ放送に関する協力であり、小規模とはいえ日本の協力がチリ国民に広く被益すると考えられる。
- (6) なお、本件と並行して協力要請のあった「教育テレビ局新設」計画は、予算の面から実現性はなく、頓挫した由。

3. 要 請 の 背 景

チリ共和国は、1973年9月のクーデター以来Pinochet大統領による軍事政権のもとで政治的には一応の安定を保持しているとみられ、経済的には、現政権により従来の国家主導型から転換し、民間主導型の自由開放政策を基本とした、経済運営を行ってきたことにより、相当の成果を挙げてきたものの、1981年の世界的不況の影響を強く受け、経済成長マイナス、失業の増加、対外債務の累積など深刻な経済状況に見舞われたが、その回復に努めている。

このような特異な政治経済情勢下において、国家として統一的、総合的な社会経済開発計画が存在するかどうかについては、調査時間の制約もあり、明確に把握することはできなかったが、面談したチリ人は、ない旨、明言していた。

次に、本件技協プロジェクトとの関連でチリの教育状況を概観すると初等教育は義務制で8年、中等教育は一般教育コースと職能教育コースに分けられ4年制、大学教育は一般的には5年制で、最近の大学進学率は17%であり、全般的な教育水準は中南米諸国の中では比較的高いものとなっている。しかし、現在でも7%程度の文盲者があり、政府は文盲の解消に力を入れており、一方、学校の不足のため昼夜二部制をとっているところがあるなど、教育施設、設備等に改善すべき点が残存していると思われる。

したがって、一般的には国家としても国民的レベルにおいても、教育に対する関心は高いと思われるが、国が積極的にテレビ放送を教育計画に取り入れていく段階には達していない状況であると思われる。

ちなみに、チリには、現在国営放送を含めて五つの放送局があるが、そのいずれもが独立採算制をとっており、大部分の番組がスポンサー付きの商業放送であり、国営放送といえども運営費に対する財政的援助はない。あえて挙げれば、国営放送が政府の要請に基づき放送した場合の費用と、それ以外に各放送局の番組の中からテレビ番組審議会が優秀番組として推奨されたものに対する補助金のみである。

さて、本件チリ教育テレビ案件については、国営放送がチャンネル9を使用し、文部省所属の教育訓練センターの協力を得て、教育番組を制作、放送する計画に対する協力要請もあったが、その計画は頓挫し、チリ到着後の大使館との事前打合せの席上で、教育番組の充実強化についての具体的計画を有しているのは国営放送ではなく、チリ・カトリック大学であることが明確となり、調査団はカトリック大学の放送番組の充実計画について調査を行った。その間国営テレビ局を訪問して実情把握をしたが、国営放送においては現在教育番組放送の具体的な計画はないとのことであった。なお、前述の国立文化財団との協力による教育テレビ局新設計画は解消した由。

チリ・カトリック大学は、1967年教育テレビの実験放送を開始し、1970年のテレビジョン法制定により大学から独立した法人（チリ・カトリック大学テレビ<TVUC>13チャンネル、テレビ局長は総長が兼務し、カトリック教会が任命する）として、一般番組、教養番組などの放送を行うほか、1977年以降カトリック大学内に設けられた“TELEDUC”という組織が大学の各学部と13チャンネルの協力を得て企画、制作した教育番組を土・日曜日の午前中1時間30分ずつ放送している。この“TELEDUC”の教育番組は、初等教育用から一般社会人向けまで多種多様であり、その中には、例えばコンピュータコースのように一定の料金を徴収して、修了者に Diploma を付与するものもあるが、いずれにしてもチリのテレビ放送で純粋な教育番組は、“TELEDUC”以外にはない。したがって、第三国等の協力も受けていないTELEDUCが、現在実施している教育テレビの内容の充実を図り、将来のチリにおける教育テレビ放送の拡大の基礎を確固たるものにするため、要請してきたものである。

4. TELEDUCの内容及び協力要請内容

4-1 TELEDUCとは

(1) 概略

TELEDUCとは、チリ・カトリック大学が、大学のテレビ・チャンネル（TV13局）と協力して進めている通信教育システムの名前である。

TELEDUCは、およそ10年前から実施されている教育実験で、この種のものとしてはラテン・アメリカで唯一のものである。これは、各学期ごとにいくつかのコースプログラムを提供しているが、これらのコースの内容は、大学の研究所、学部の教授たちによって準備されている。ある生徒がTELEDUCのあるコースに登録した時、この教育実験は、次のものを含んでいる：

- a) 通常は12本のテレビ番組、これらは土曜と日曜にTV13で、北部地域ではテレノルテで、テレビの電波が届いていない地域では閉回路で放送されている。
- b) テレビ番組で扱われている内容が記述されているテキスト、これは登録時に支給される。
- c) コースの目標達成評価。
- d) 資格（評価過程を修了した場合）。

コースの内容に応じて、生徒はある場合は手引き、カセットあるいはゲームのような補助教材を受け取る。それに加えて、ある種のコースでは、TELEDUCの各地の支部の教授と助手による指導を受けることができる。

この制度は、準備されているコースを受ける能力があると感じているあらゆる人に対して開かれており、TELEDUCの生徒になるためには、登録し、テレビ番組を視聴し、テキストの内容を学び、パート毎のテストに回答を送り、試験を受けに自ら出席しさえすれば十分である。

こうしたコースとともに、TELEDUCはそのテレビ放送の中で、サイクル（シクロ）のプログラムを提供している。これはおよそ12本の番組のシリーズで、一般的に興味を持たれているテーマを取り上げているが、コースと違って、公式的な評価のシステムを持っていないし、資格も与えないものである。

コースの番組もサイクルの番組も、TELEDUC固有のテレビ言語を使って演出されていて、視聴者の注意を獲得するための要素として、ドラマとユーモアの使用が目立っている。同時に、大学の学術部門が、番組内容の質を確保するという使命を担っている。

このプログラムは、資格を取得した数千人の生徒と、テレビ画面を通じて番組を見ている数十万人の人々から認知されているし、番組制作の資金と年度賞の授与を通じて、Consejo Nacional de Television (国家テレビ審議会) の公式の認知を得ている。

(2) TELEDUCの将来の発展計画

次の3カ年におけるプログラムの発展のために下記の目標が定められている。

- 1) 番組の次の三つの基本的考えを通じてTELEDUCの活動を強化する：
 - a) 活動のための道具：これらは普通、技術的訓練のコースで、その目的は生徒の就労の機会を改善する手段として役立つことである。
 - b) 個人としての進歩：これらは普通、人間としてのある種の訓練のコースである。その目的は、個人とそれぞれが属する共同体にとって重要な問題に直面した際に、それぞれの意識を鋭敏にさせるような概念と言語の獲得を通じて、人々の内面的成長に役立つことである。
 - c) 我々が生きている環境：これらは、我が国の地理がもたらす可能性を、よりよく知ること、特に向けられたコースである。

TELEDUCの視聴者の中には、あらゆる年代の人々がいる。TELEDUCは子供向けの時間を作ったし、これからも発展させ続けようと考えている。その中では、上述した三つの基本的考えに関係したテーマが、もっと小さな視聴者(6歳から14歳)に適した言葉でもって提示されていることも特筆できる。

2) 教育テレビの番組制作において、ラテン・アメリカ地域でのリーダーシップを如何に発揮するか。

- a) TELEDUCの使命についての明確な哲学を決定する。その場合、番組を受け取る側の文化的状況を特に考慮に入れなければならない。
- b) もっと水準の高い番組の制作。これは第一に、もっと教育学的水準の高いコースの制作を意味し、そして第二に、テレビ的観点からみて、もっと質の高い番組の制作を意味する。
- c) なし遂げられた事業の計量と科学的分析の統合。

(3) 1986~1988年の間の活動計画

1) 1986年のコースとサイクルのタイトル

a) コンピュータの応用

コンピュータについて何も知らない人々に、今日この技術からもたらされている基本的応用を教えるためのコース。

b) 私は経営者 (第一部)

商業的あるいは社会的利潤を上げる活動をおこすのに不安を持っている人々に対して、その人個人の会社をおこすよう教えることを目的とするコース。ある組織を運営中の法律的要素、経済的要素、人間的要素などをカバーしている。

c) 芸術、精神の窓 (第一部)

これは、芸術から優れた表現・人々の生活を豊かにする表現を作り出す能力を育てるのに向けられた番組のサイクルのうち最初のものである。その作品が生まれた時代の社会的状況とともに、見る人と創造する人との心理的状況にも触れながら、芸術的創造についての間違いのない視点を養わせるよう務めている。美術、精神の窓シリーズは、全体で2年半続くであろう。

d) 言葉の歴史

現在使われている一連の言葉を提示するミニ番組、そして語源的分析を通じて、言葉の元の意味ともっと深い意義を描く。言葉の問題について先取りした部分である(この番組は、年に2回放送される)。

e) TELRDUC 1986年の結び

この結びとは、普通、次の機能を果たす時間を意味している: TELEDUCの番組群の中の二つの番組を結びつける役をすること、その週に行われる科学的・文化的活動に関するニュースを与えること、そしてTELEDUCのコースに伴うテスト、練習、コンクールに関するニュースを与えることなどの機能を果たす(この番組は、年に2回放送される)。

f) 文章表現

さまざまな性質の書類を書くことを教えるために計画されたコースで、商業用の書類と文学的書きものを含んでいる。

g) 耳とまつげと眉, 1986年

教育的に高い内容を持つ幼児向け番組(年に2回放送される)。

2) 1987年のコースとサイクルの番組のタイトル

a) ログ言語を通じてのコンピュータ

特に12歳から20歳の子供と若者に向けられたログによるプログラミングのコース。

b) 私は経営者 (第二部)

このコースは、第一部で放送された概念を深め、さらに、すでにでき上がっている企業における革新と創造性についてのテーマも扱う。

- c) 芸術, 精神の窓 (第二部)
すでに述べたシリーズの中で, 第二シリーズのテーマは, 音楽にかかわる現象をカバーする。
- d) 言葉の歴史 (継続)
新しい言葉が, すでに説明したような分析法にかけられる (この番組は, 年に2回放送される)。
- e) TELEDUC 1987年の結び
1986年と同じ。
- f) コンピュータの応用 (再放送)
コンピュータについて何も知らない人々に, 今日この技術からもたらされている基本的応用を教えるためのコース。
- g) チリの地理 (第一部)
生活の基本である我々が生活している環境についての最初のコース。このシリーズで, 国内の12の地方の自然地理と政治地理をカバーするつもりである。
- h) 耳とまげと眉, 1987年
幼児向け番組, 年に2回放送される。
- 3) 1988年のコースとサイクルの番組のタイトル
- a) チリの空
生活の基本である我々が生活している環境についての第二のコース。この中では, 我が国に存在するこの分野に関する機材と専門家を最大限に投じて, 宇宙を観察し, 鑑賞し, 知ることが教えられる。よく知られているように, 我が国は, 宇宙の直接観察に最もよい場所と, 南半球で最もよい装備を持っている。
- b) 芸術, 精神の窓 (第三部)
すでに述べたシリーズの中で, 第三シリーズのテーマは, 造形美術, 特に絵画をカバーする。
- c) 芸術, 精神の窓 (第四部)
チリ・詩人たちの国
- d) TELEDUC 1988年の結び
1986年と同じ。
- e) コンピュータの応用 (再放送)
コンピュータについて何も知らない人々に, 今日この技術からもたらされている基本的応用を教えるコース。

f) チリの地理 (第二部)

国内の12の地方の自然資源と人的資源についての研究の続き。

g) 私の身体, 私の生命機関

いのちの生理がどのように機能しているかについて, よりよく理解することを通じて, チリ人の健康を向上させることに向けられた, 解剖学のコース。

h) 我が故郷の芸術家たち (第一部)

作者へのインタビューと作者の創作過程の提示により, チリの工芸制作の基本点についてのサイクル番組。

i) 我が故郷の芸術家たち (第二部)

より高度の描写の新しい数例。

j) 耳とまつげと眉, 1988年

幼児向け番組, 年2回放送される。

k) ハロー, ハロー (基礎英語のコース)

(4) TELEDUCの将来の発展に対して推測される主な障害

TELEDUCの現有の資材では, その発展計画を実現させるには, いくつかの重大な障害に直面することになる, すなわち:

- 1) 生活の基本である我々が生きている環境についての番組 (地理の完全なコース) のための学術的材料のうち重要なものは, すでにでき上がっている。それにもかかわらず, そしてこのテーマの重要性についてはっきり意識されているにもかかわらず, TELEDUCは地方での録画のために13チャンネルからの必要な助力をあてにできない。こうした制限は, 一般に外で録画する可能性を全く否定するものではないが, 長い期間をかけて遠い場所に出て行くことを不可能にしている。
- 2) TELEDUCが数千の受講者の間で勝ち得た成功の鍵となったのは, その番組に独特のスタイルを打ち立てたことである。このスタイルは, 番組づくりのためのTELEDUCの標語として, 『学ぶための見世物をつくる』を決定させるにいたったが, 主として次のように性格づけられる:
 - a) 扱う材料の展開のためにドラマを使う。
 - b) ユーモアのある台本を多用する。
 - c) 高度の視覚的刺激を与えるような図表化した材料, 特にアニメーション画像などを使う。

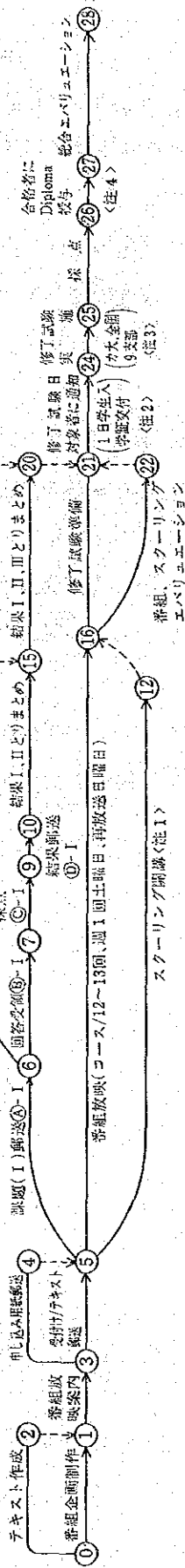
この三番目の問題の面で, TELEDUCは機材と要員訓練上の制約から, 最も大きな問題に直面している。適度の費用で, 第一級の方法を展開できるためには, 映像 (一

般にアニメーションと特殊効果)のデジタル処理に関する新しい技術に頼ることが不可欠である。

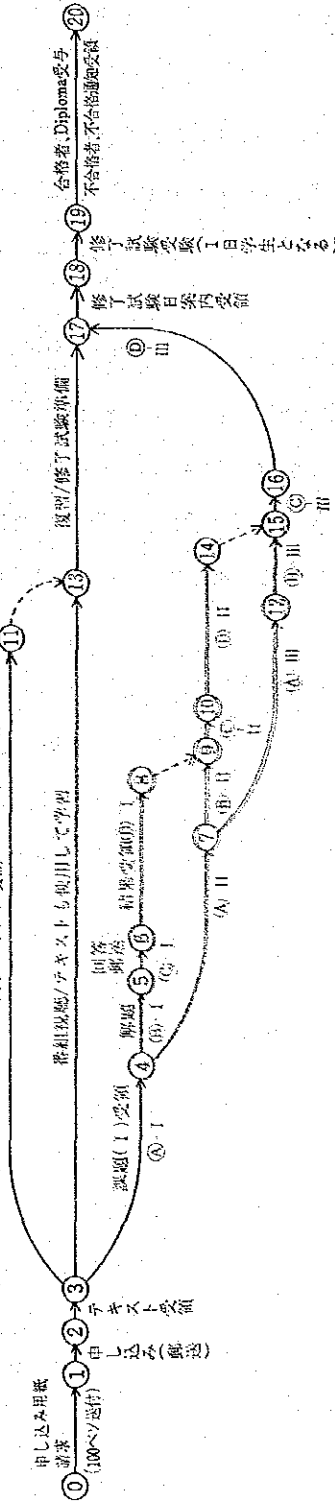
- 3) 教育テレビの番組を発展させていく上で、TELEDUCが、チリでもラテンアメリカ全体でも、リーダーの地位を固めるというTELEDUCの目標は、作られた番組の影響について科学的に知ることを必要とする。これは、番組の企画の段階でも、放送後と同様に計測される必要がある。TELEDUCは、いまは、こうした研究を実現するための技術も、人材も持っていない。

(5) TELEDUC TV教育システム

TELEDUC



視聴者

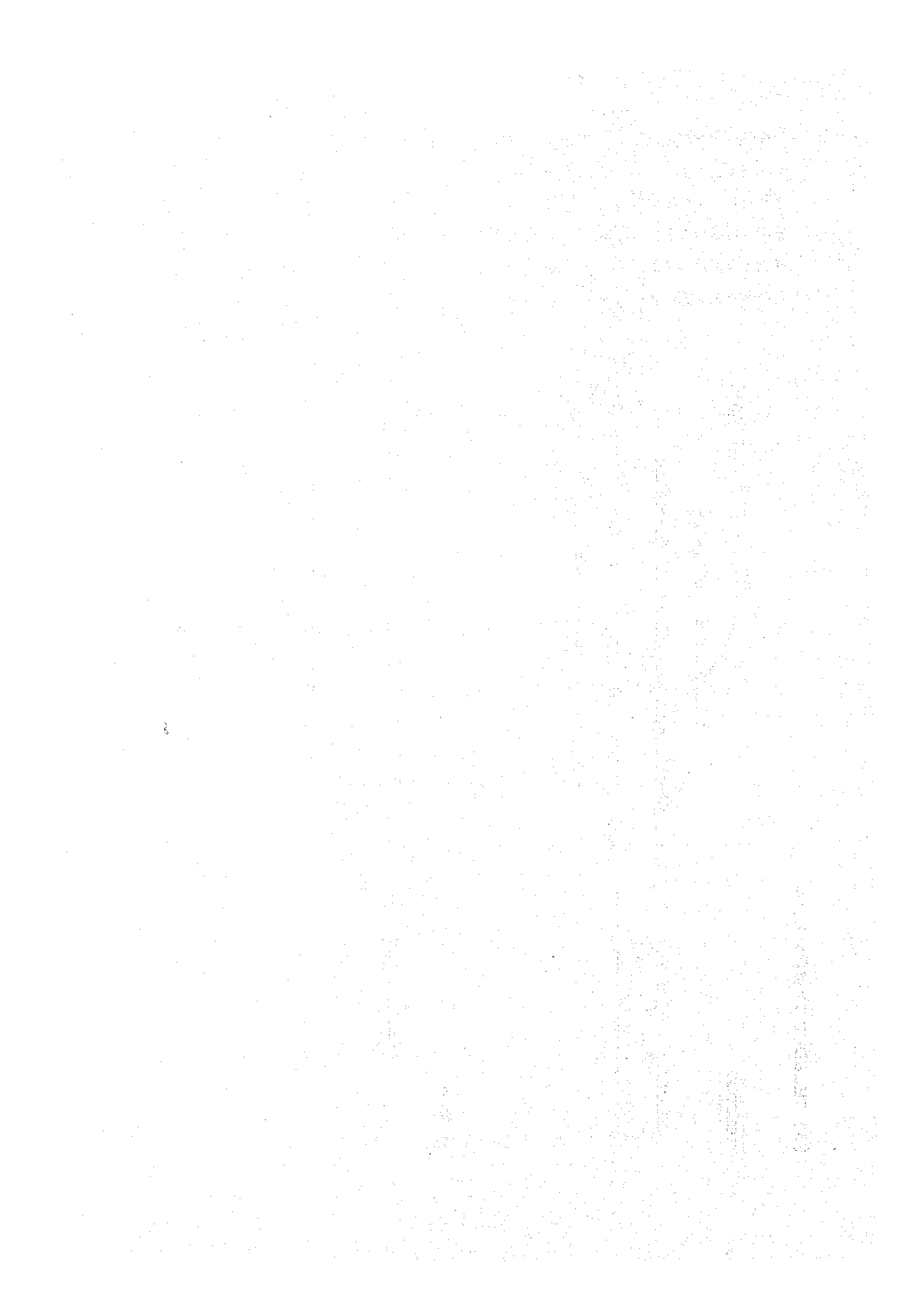


注1) スクーリングは、番組(コース)放映中に実施するが、余コースでは実施せず、コンピュータ・コースや数学のコースなどの場合に実施している。スクーリングの場所は、サンチャゴのカトリック大学を中心に、全国にある教育者の地方局で実施する。カトリック大学でのコンピュータのスクーリングは、1週間に3時間コンピュータを使用する権利を得た受講者が随時参加し、大学の先生がコンタクトとして教える。

注2) 1日学生制度は、1日学生は各コースにより受講者(国境を越えて心理的)に近い影響を与え、即ち各コースの単位が与えられる。

注3) TELEDUCは、全国に8支部を有し、各支部は教育省の地方局に設けられている。

注4) 合格者約80% (スクーリングのあるコースは若干異なる)。修了証Diplomaは、幅広い年次を修了し、それを授与することにより、自己満足を得るのではなく仕事上も、地位の向上にも、自分のアップにも役立っている。



4-2 協力要請内容

TELEDUCが発展するにあたって直面している基本的な問題は、もし次の分野での協力が得られれば、うまく理解できると思われる：

(1) 設 備

- 1) 特に地理と自然科学の分野では、屋外での番組の録画のための中継車。
- 2) ビデオ、特にデジタル映像、中でもアニメーションと特殊効果の創造に向けられたビデオのための2次元及び3次元ソフトウェア・プログラムを持つコンピュータ。

(2) 研修・養成

- 1) (例えばNHKで) 第一級のレベルの教育テレビ制作グループがどのように組織されているか、そして上記の教育番組の影響についての科学的研究がどのように行われているかを知るように、TELEDUC及びTV13局の幹部たちの日本への訪問の可能性。
- 2) (1) 項に記された機材の選定について助言するための日本人専門家の来訪。
- 3) (1) 及び(3) に述べられた技術を使えるようチリ人スタッフの訓練を助ける専門家たちの来訪。

- (3) 教育テレビの効果についての調査・研究グループをつくる。この目的のため、特別なプロジェクトをつくり、この研究が必要とする要員を訓練するべきであろう。

5. チリ側要請ペーパー



Pontificia Universidad Católica de Chile
Dirección de Educación Universitaria a Distancia
TELEDUC

**PROPOSAL FOR A PROJECT
FOR TECHNICAL AND
ECONOMIC ASSISTANCE
WITH JAPAN**

Santiago, June 1986

(注) 本ペーパーは、本調査団との協議結果に基づき、調査団帰国3カ月後にチリ側より提出あったものである。

CONTENTS

1.-	Foreword	p.1
2.-	Teleduc's Future Development: An Overview	p.3
3.-	Schedule of Activities for the 1986-88 period	p.4
4.-	Main Obstacles Foreseen for Development	p.7
5.-	Means to Overcome these Obstacles	p.8
6.-	Teleduc staff	p.9
7.-	Estimated Budget	p.10
8.-	The Television Network of the Catholic Univ. of Chile	p.11
9	Teleduc's previous activities	p.15
10	Teleduc Organizational Chart	p.21

1. FOREWORD

TELEDUC is the name given to the Distance Education System of the Pontificia Universidad Católica de Chile with the assistance of the university's television channel.

Started about ten years ago, **TELEDUC** is an educational experience unique in its kind in Latin America. Each academic period, **TELEDUC** offers a series of courses prepared by a team which includes academics from the different faculties of the university. When a student registers in one of **TELEDUC** courses, his/her educational experience includes:

- a. Television programmes (generally 12 of them) broadcasted throughout the country on Saturdays and Sundays.
- b. Textbooks containing a complement of the subjects presented in the T.V. programmes. These are handed out to students at the time of registration.
- c. Formal evaluation of degree of achievement of educational goals.
- d. A diploma (in case of passing successfully the evaluation process).

Depending on the contents of the courses, the student receives auxiliary material such as handbooks, cassettes or games. In addition, some courses include academic advise carried-out by staff specially trained by **TELEDUC** to this purpose.

This educational experience is open to anyone that considers himself/herself able to follow the courses. To be a student of **TELEDUC**, you just have to register, follow the television programmes, study the texts' contents, mail the answers for the mid-term tests, and personally to take a final examination.

Concurrently to the courses, **TELEDUC** offers Series of Programmes, that is, sets of about 12 programmes dealing with subjects of general interest which -unlike the courses- require no academic obligations on the part of the T.V. audience or the University.

Both courses and series of programmes are made up with a television language typical of TELEDUC in which the use of drama and humor are outstanding elements. At the same time, the academic units of the university have the task of guaranteeing the quality of the contents of these programmes.

TELEDUC has gained recognition of thousands of students that have received their diploma, hundreds of thousands of people who have followed its programmes on the screen, and the official recognition of the National Television Council (Consejo Nacional de Televisión) expressed by the granting of funds for the production of programmes and the awarding of the Annual National Television Prize in several occasions.

2. TELEDUC'S FUTURE DEVELOPMENT: AN OVERVIEW

The following goals have been defined for the development of TELEDUC over the next three years:

2.1. Reinforcement TELEDUC's current work through developing new productions along four main lines of programmes:

- a. **Tools for Action:** These courses deal with some technological discipline. Their purpose is to serve as a means to improve the students' opportunities in their working environment.
- b. **Personal Development:** These courses normally deal with some humanistic discipline. Their purpose is to encourage the person's inner development through the acquisition of languages and concepts regarded as important for developing self and social awareness.
- c. **The Environment We Live In:** These courses are specifically oriented to enhancing an awareness about the possibilities offered by the country's geography both political and physical.
- d. **T.V. Programmes for Children:** TELEDUC's programmes are watched by people of all ages. However it should be noted that TELEDUC has a particularly strong commitment to children through producing one third of its current programmes with the younger audience in mind. (6 to 14 years).

2.2. Commitment to developing a leadership within Latin America in the production of educational television.

This goal implies in its turn:

a. Formal definition of TELEDUC's general objectives, with special consideration to the cultural reality in which its programmes are included.

b. Production of top quality T.V. programmes. This means two different things in its turn: Firstly, the production of programmes of the highest educational level. Secondly, first class technical production of the television programmes.

c. Development of a scientific methodology for researching and monitoring of television programmes.

3. SCHEDULE OF ACTIVITIES FOR THE 1986-1988 PERIOD

3.1. Titles of 1986 Courses and Series of programmes

- "Applied Computing" (*"Computación Aplicada"*)

This course is oriented to show the most successful applications of personal computers, such as word processing, data bases, spread sheets etc.

- "I Businessman" (*"Yo Empresario"*)

This course is intended to help people organize his/her own business activity. The course covers legal, economic, and human aspects involved in setting-up an organization.

- "Art, Window of the Soul" (*"El Arte Ventana del Espiritu"*)

This programme is intended to cover all major manifestations of the arts. Part One has been designated "Cinema: Watching doesn't mean Seeing" and is dedicated to exploring the language of cinema and its related activity, the video. This is the first in a series of programmes designed with the intention of making it possible for mass audiences to enhancing their ability to appreciate the artistic phenomenon. Our intention is to present Art as something that can be de-mystified and therefore assimilated by any individual. The

series: "Art, Window of the Soul" is intended as a project developing over a period no shorter than three years.

- "History of Words" (*"Historia de Palabras"*)

This is a series of 52 "microprogrammes" (each one is 1-2 minutes long) in which common words are described and their original meaning and deepest sense is analysed. This programme represents one instance of a more general interest about language.

- "Continuity TELEDUC 1986" (*"Continuidad TELEDUC 1986"*)

We call Continuity the space that fulfils the following tasks:

- a.- serving as a link between TELEDUC's programmes.
- b.- delivering news related to scientific and cultural activities that have taken place during the week.
- c.- informing about tests, exercises and other matters related with TELEDUC's courses.

- "Written Expression" (*"Expresión Escrita"*)

This course has been designed to teach how to write documents of various classes, including commercial documents and literary works.

- "Look, Listen and Learn" (*"Oreja, Pestaña y Ceja"*) 1986

Program for children that bears high didactic contents.

3.2. Titles of 1987 Courses and Series of Programmes

- "Computing through the Logo Language" (*"Computación a través del Lenguaje Logo"*)

Course in computer programming specially oriented to children and youngsters from 12 to 20 years.

- "I, Businessman (Part Two)" (*"Yo, Empresario"*)

This course deepens concepts given in Part One placing special emphasis on innovation and creativeness in established organizations.

- "Art: Window of the Soul" (*"El Arte Ventana del Espíritu"*)

Part Two: Music.

In the series already mentioned, the second series of subjects covers the world of music.

- "History of Words (Part Two)" (*"Historia de Palabras"*)
New words are submitted to the analysis already explained.
- "Continuity TELEDUC 1987" (*Continuidad TELEDUC 1987*)
Idem. 1986.
- "Applied Computing (Repetition)" (*"Computación Aplicada"*)
- "Geography of Chile (Part One)" (*"Geografía de Chile"*)
First course on the thematic line "The Environment We Live In".
TELEDUC's intention is to cover the physical and political geography
of the thirteen regions of Chile.
- "Look, Listen and Learn" (*"Oreja, Pestaña y Ceja"*) 1987
Traditional program for the youngest.

3.3. Titles of 1988 Courses and Series of Programmes

- "The World Above Us" (*"Los Cielos de Chile"*)
Second course in the thematic line "The Environment We Live In", in
which the students learn to observe, value and appreciate the
wonders of the universe. We intend to make use of the very high
investment in equipment and skilled personnel that exists in our
country. (Chile has the best sites for direct observation of the
cosmos, as well as the largest telescopes in the southern hemi-
sphere).
- "Art: Window of the Soul": Part Three, Fine Arts.
In the series already mentioned, the third series of subjects covers
Fine Arts, Painting in particular.
- "Art: The Window of the Soul": Part Four, Chile a Country of Poets
(*"Chile, País de Poetas"*)
- "Continuity TELEDUC 1988"
Idem. 1986.
- "Advanced Course in Applied Computing" (*"Computación Aplicada"
Avanzada*)

- "Geography of Chile" (Part Two)
Continuation of the study of natural and human resources of the thirteen regions of the country.
- "My Body, ~~my~~^{My} Machine of Life" (*"Mi Cuerpo, mi Máquina de Vida"*)
Descriptive anatomy course oriented to improve Chilean's health through a better understanding of the functioning of life's physiology.
- "Builders of our Land (Part One)" (*"Creadores de nuestra tierra"*)
Series of programmes about the main handicraft production centers of the country along with interviews and personal experiences concerning the creative process of the artisans.
- "Builders of Our Land:(Part Two)"
New examples along the same line.
- "Look, Listen and Learn 1987" (1988?)
- "Hello, goodbye!" (Basic English Course)

4. MAIN OBSTACLES FORESEEN FOR THE FUTURE DEVELOPMENT OF TELEDUC

Given its current resources, the materialization of TELEDUC's development plans encounters some serious hindrances, e.g.:

- a. Substantial academic material has been developed for the programmes in the thematic line "The Environment We Live In". In spite of this efforts, TELEDUC hasn't got enough equipment to carry-out outdoors recordings for extended periods of time which are called for. This becomes an unsurmountable restriction when it comes to shooting outside recordings.
- b. We hold the view that TELEDUC's outstanding reputation can be attributed to its unique approach to designing TV programmes for mass-teaching. This style is based upon the premise that learning and entertainment are not necessarily two contradictory goals. The style of programmes referred to, is characterised by the following features:
 - i) Use of drama to present academic subjects.
 - ii) Extensive use of humor in TV scripts.
 - iii) Use of graphic resources of highest visual impact, particularly, animated cartoons.

5. MEANS TO OVERCOME THESE OBSTACLES

It is considered that TELEDUC 's main obstacles for development could be conveniently dealt with ~~with~~ assistance in the following areas:

5.1 Equipment

a) A mobile unit for outside recording, particularly in the subjects of Geography and Natural Sciences.

b) Computer facilities including software, peripherals and video interface, oriented towards the creation of digital images, animation and special effects.

5.2 Training

a) Scheduling of visits to top-class educational television centres (such as NHK) with a view to observe how first class educational television is produced, and to learn how scientific research of educational programmes is carried-out.

b) Short visits by foreign experts to advise the selection of equipment described in 5.1.

c) Scheduling of visits by experts to advise the training of Chilean staff in the use of the technologies described in 5.1 and 5.3 (presented below).

5.3 Scientific Research

TELEDUC is interested in setting-up a research group devoted to the study of the effects of educational television. For this purpose, an specific project should be drawn up and the staff determined by the study should be trained.

TELEDUC STAFF

Alfonso Gómez (Ph.D.)	Director
Cecilia Guitart	Academic Coordinator
Rafael Vial	Administrative Coordinator
Edith Altmann	Special Projects Coordinator
Nellie Krauss	Commissioner of Branches
Juan Pedro Broussain	T.V. Supervisor
María Teresa Meneses	Director's Secretary
Francisco Masquián	Administrative Official
Consuelo Velasco	Bookstore Commissioner
Paulina Bustos	Administration
Manuel Marín	Administration
Marco Videla	Administration
Isabel Vicuña	Channel Coordinator
Cristián Guzmán (*)	Graphic Designer
Ramón López(*)	Stage Designer
Andrés Martínez (*)	Stage Designer
Pia Rey (*)	Production Assistant
Marcelo Miranda (*)	Computer Animation

(*) part-time personnel

TELEDUC ESTIMATED BUDGET 1984-1986

	1984	1985	1986
CONTRIBUTION CH 13			
National TY Council	2,333,493	1,778,084	2,258,167
TY Production	7,905,416	11,593,361	14,723,568
Other contributions	5,571,923	9,815,277	12,465,402
TOTAL CHANNEL 13	15,810,832	23,186,722	29,447,137
UNIVERSITY BUDGET			
TELEDUC staff	9,702,546	8,988,000	11,414,760
Overhead	4,927,600	4,023,000	5,109,210
Fees	11,407,140	9,760,000	12,395,200
National TY Council	2,217,420	1,308,000	1,661,160
Other incomes	3,208,020	4,896,000	6,217,920
Donations	0	2,341,000	2,973,070
Books (wholesale)	1,071,880	914,000	1,160,780
Books (retail)	4,211,320	5,093,000	6,468,110
Sale of Computers	0	1,532,000	1,945,640
Ingresos Revista Oreja	0	3,043,000	0
Sub-Total Income	36,745,926	41,898,000	49,345,850
OVERALL TOTAL	52,556,758	65,084,722	78,792,987

1 US \$= 200 PESOS APROX.

In Chilean Pesos. (1 US\$= 200 Pesos aprox.)

THE TELEVISION CORPORATION OF THE CATHOLIC UNIVERSITY OF CHILE

At the beginning of 1951, a group of engineers from the Scientific and Technological Research Department of our university developed a closed-circuit television system that was then successfully tested as a learning tool.

Late the same year, the Superior Council of the University decided to strongly support this new media. The first programmes were broadcasted with a small 50 watts transmitter. The experience was very welcome by the small population that already possessed television sets at the time.

On August 21st 1959, the television channel of the Universidad Católica was born as Channel 2. Three years later it adopted its current frequency, Channel 13. The 1962 Football World Cup was the first serious test that the newly born corporation had to face. It had to cover a major international event with extremely unsophisticated equipment.

When the World Cup was over, a total of about 5.000 television sets existed in Chile. It was then that the Rector of the Universidad Católica, Monsignor Alfredo Silva Santiago, ordered the setting of systematic broadcasting of entertainment and cultural programmes, as a new service provided for by the University.

In August 1962, programmes were set on air three times a week; four in September; six in November; and since 1963, there have been daily transmissions.

In April 1978, the Central Government decided to establish as the official standard for color broadcasting in Chile, that of the NTSC with 525 lines. Channel 13 adapted to this important challenge in only five months, through an ambitious programme of re-equipment.

Goals and Objectives

The Corporation gave itself the goal of becoming "a university television channel, with programmes in accordance with christian values, open to

universal values, which only aim is that of becoming a tool for culture and entertainment, in a passionate and sincere quest of the truth." This objective is still in full force.

As a mass media, the Corporation seeks to reach high rating, trying to maintain an appropriate balance between entertainment oriented programmes and cultural television.

Although the Rector of the Universidad Católica de Chile, exerts direct control over the Channel main policies, Channel 13 is run with a great deal of autonomy.

The Executive Director is the Corporation' top management authority. Channel 13 has a functional organizational structure in which Programming, Production, Broadcasting, Engineering, Management and Finance, Press, and Sales Management are the main Departments.

Programming: This department is in charge of selecting the contents and timing of programmes that are to be set on air, in order to reach a previously defined target audience.

Production: This department is in charge of producing live programmes. It has the capability for dealing with functions such as stage design, graphic art, clothing, make-up, stage machinery, among others.

Engineering: This is a technical department, in charge broadcasting quality control as well as hardware maintenance. (transmitters, TV cameras, lighting, videotape, telecinema, audio, are some of its related areas).

Broadcasting: This section carries out a variety of specific functions, for example: Continuity (the Daily Broadcasting Plan), trouble shooting once in the air, and transit of foreign material.

Management and Finance Department: Deals with the Channel's administration, namely financing, work force, acquisitions, and imports among others.

Sales Management: This department is specifically in charge of marketing television programmes and selling advertising time.

Press: In charge of reporting and recording news material.

Coverage

Appart from its main Channel at the Región Metropolitana (Channel 13), the Corporation broadcasts throughout the country as Channel 8, in Valparaíso and Viña del Mar; Channel 5 in San Fernando; Channel 8 in Talca and Linares; Channel 13 in Chillán and Los Angeles; Channel 9 in Constitución; and, in the near future, Channel 4 in Temuco. These stations re-transmit the Santiago station programmes via the Entel network. Also, Channel 5 in Concepción, is a partly autonomous channel, that alternates regional programmes with the ones received from Santiago. In the same conditin we find several stations in northern Chile, through the Telenorte network: Channel 3, in Antofagasta, Calama and Chuquicamata, Channel 8 in Pedro de Valdivia and María Elena, Channel 13 in San Pedro de Atacama, Channel 12 in Iquique, Channel 8 in Tocopilla, Channel 11 in Arica.

Facilities and Equipment

The Corporation has newly built facilities comprising some 20.000 square meters. Its present headquarters represent only part of an ambitious architectural project which includes the building of additional 30.000 square meters.

Channel 13 main equipment includes

- 2 soap operas studios equipped with 2 cameras Ikegami HL 302 and 1 Sony BVP 330.
- 1 studio (600 square meters) for Sabados Gigantes, by far the country's most popular light entertainment programme. Equipped with 4 cameras Sony DXC-M-3.
- 1 studio (900 square meters) for the production of Musicals, equipped with 3 cameras Sony BUP-330 and 2 cameras Sony DXC-M-3.
- 1 news studio equipped with 4 cameras JVC K 4 2700.
- 1 continuity studio equipped with 3 cameras JVC 2700.
- 1 Outside Broadcasting Van.

- 1 RCA equipment with 4 cameras, model FTK 760.
- 1 Mini Van, locally equipped with 4 cameras JVC KY 2700.
- 1 ENG- (Electronic News Gathering). Local Microwave Transmissions.

The Corporación de Televisión is a non-profit organization which does not receive economic resources from the University's Central Government since 1976. The Channel is self-financed through the marketing of its programmes.

Channel 13 reaches over 80% of Chile's population, and has reached a market share ranging between 40% - 50% of the whole of the national audience.

Production of national programmes is over 40% of its total broadcasting time. This represents the concerted efforts of a staff of about 250 people -professionals, artists and technicians-.

YEAR 1979

Academic Programme

Courses:

- "Working Methods in Preschool Education"
- "Church and Society"
- "Human Relations in Labor Organization"
- "Essential Practice in Law: Frequent Legal Cases"

Series of Programmes:

None this year

Other Academic Activities:

Seminar for Preschool Teachers carried out as an extraprogrammatic activity.

Participating Academic Units:

- School of Education: Preschool Education Programme
- Institute of Theology
- School of Psychology
- School of Law

Book Publishing:

- "Working Methods in Preschool Education"
- "Church and Society"
- "Human Relations in Labor Organization"
- "Practic Essentials in Law: Frequent Legal Cases"

Other Supporting Means:

- 12 Pedagogic Guidelines in Law
- 04 Pedagogic Guidelines in Preschool Education
- 14 Pedagogic Guidelines in Social Doctrine of the Church
- 14 Pedagogic Guidelines in Human Relations

Television:

Preschool Education	14 Programmes
Social Doctrine of the Church	14 Programmes
Human Relations	14 Programmes
Law: Legal Cases	12 Programmes

Teleduc Branches:

3 Santiago, Valparaíso, Concepción.

YEAR 1980

Academic Programme

Courses:

- "Mathematics Algebra: Part One"
- "Written Expression: Part One"
- "School-age child Psychology"
- "Mathematics Algebra: Part Two"
- "Written Expression: Part Two"
- "Adolescent Psychology"
- "Working Methods in Preschool Education" (re-edition)

Series of Programmes:

"Jesus, The Christ" (An approach to Christology)

Other Academic Activities:

None.

Participating Academic Units:

Institute of Mathematics
 Institute of Letters
 School of Education
 School of Psychology
 Institute of Theology

Book Publishing:

"Mathematics Algebra: Part One"

"Mathematics Algebra: Part Two"
"Written Expression: Part One"
"Written Expression: Part Two"
"School-age child Psychology"
"Adolescent Psychology"

Other Supporting Means:

24 Pedagogic Guidelines in Mathematics
24 Pedagogic Guidelines in Written Expression
12 Pedagogic Guidelines in School-age Child Psychology
12 Pedagogic Guidelines in Adolescent Psychology
12 Pedagogic Guidelines in Preschool Education

Television:

Mathematics Algebra	24 Programmes
Written Expression	24 Programmes
School-age Child Psychology	12 Programmes
Adolescent Psychology	12 Programmes
Preschool Education	12 Programmes
Christology	12 Programmes

YEAR 1981

Academic Programme

Courses:

"Creative Experience of the Toddler"
"How do children Learn Mathematics: Part One" (re-edition)
"Mathematics Algebra: Part One" (re-edition)
"The Child and the School"
"How do children Learn Mathematics: Part Two"
"Written Expression: Part Two" (re-edition)
"Mathematics Algebra: Part Two" (re-edition)

Series of Programmes:

"Instruments and their Performers" (Winds, strings and percussion)

"Ecologic Documentaries" (allert against pollution)
 "Special Features" (subjects of national interest and interviews)
 "Young Chilean Performers" (introduction of young musical talents)

Other Academic Activities:

Advisories carried out by the two teachers of the Mathematics course (direct evaluation and assistance) in all TELEDUC 81'branches throughout both academic semesters.

Participating Academic Units:

School of Education:Elementary Education Programme
 Preschool Education Programme
 Special Education Programme
 Institute of Literature
 Institute of Mathematics
 School of Education: Preschool Education Programme

Book Publishing:

"I Express Myself: Creative Experiences of the Toddler"
 "I Express Myself: Teacher's Guide"
 "How do Children Learn Mathematics"
 "The Child at School"

Other Supporting Means:

Cassete "I Express Myself", with songs to listen and play.
 A didactic box with cards and guides for readiness in Mathematics: "I learn the first numbers"

Television:

I Express Myself	12 Programmes
How do children Learn Mathematics	24 Programmes
The Child and the School	12 Programmes
The Instrument and its Performer	12 Programmes
Ecology	10 Programmes
Journalistic Programmes	37 Programmes
Young Chilean Performers	12 Programmes

Teleduc Branches:

6: Arica, Iquique, Antofagasta, Valparaíso, Santiago, Concepción.

YEAR 1982

Academic Programme

Courses:

"Economics: Principles and Problems"

"I Express Myself" (re-edition)

"How do Children Learn Mathematics" (re-edition)

Series of Programmes:

"Life Imprisonment" (outstanding subjects of the universal culture)

"The Intelligent Body" (corporal beauty reconditioning method)

"Portraits and Self-portraits" (special features-interviews to artistic characters)

"Why Music?" (music: origins, evolution and expression)

"Social Psychology" (human behavior in the social environment)

"Chilean Musical Instruments" (aboriginal cultures' musical heritage)

"Ecology for Children" (how and why take care of the environment)

Other Academic Activities:

Advisories carried out by the two teachers of the mathematics course (evaluation and assistance) in all of TELEDUC 82' branches.

Participating Academic Units:

Institute of Economics

School of Education: Elementary Education Programme

Preschool Education Programme

Institute of Music

School of Psychology

Institute of Geography

Institute of Chemistry

Book Publishing:

"Economics: Principles and Problems"

"Economy: Teacher's Guide"

"Our Task: a Clean Land"

Other Supporting Means:

Didactic poster with exercises for the series of programmes
"The Intelligent Body"

Television:

Economics	12 Programmes
Music	12 Programmes
The Intelligent Body	12 Programmes
Social Psychology	12 Programmes
Portraits and Self-portraits	19 Programmes
Chilean Musical Instruments	06 Programmes
Life Imprissonment	06 Programmes
Ecology for Children	06 Programmes

Teleduc Branches:

10: Arica, Antofagasta, Calama, Los Andes, Valparaíso, Santiago, Curicó,
Talca, Concepción, Villarica.

YEAR 1983

Academic Programme

Courses:

"Chile: Five Centuries of Culture"

"Dram: From the Setting of the Group to the Debut"

Series of Programmes:

"Mathematical Games" (Contest of problems solution)

"Dialogue with Science" (Special feature-interviews to
national scientists)

TELEDUC

